



平成30年 2月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 う る る
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 星 知 也
 (コード番号：3979 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 近 藤 浩 計
 (TEL. 03-6221-3069)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,169	505	504	350	108.06
今回修正予想 (B)	1,884	376	376	272	83.92
増減額 (B - A)	△285	△129	△128	△78	—
増減率 (%)	△13.2	△25.6	△25.4	△22.3	—
(参考) 前期実績 (平成29年3月期)	1,722	241	214	241	85.98

(注) 上記の1株当たり当期純利益は、平成29年12月31日現在における発行済株式総数(3,241,100株)を基に算出しております。

2. 業績予想修正の理由

当社グループの売上高に関しましては、BPO事業において、当期初より大規模案件を受注する専属チームを設立することによって大規模案件の受注獲得を図ってまいりましたが、クライアントの潜在的なアウトソーシングニーズを引き出し、受注獲得に至るまでに想定以上の時間を要していること、前期に売上計上した大規模案件について当期は受注がなされなかったことから、第3四半期末時点で売上高が計画及び前年同期実績を下回りました。

利益に関しましては、当社の主力事業であるCGS事業における利益進捗は計画対比で概ね順調であるものの、BPO事業の売上計画未達による利益の計画下振れを補うには至らず、第3四半期末時点における利益は計画を下回りました。

第4四半期以降については、BPO事業にて引き続き大規模案件の受注獲得を目指していくものの、第3四半期末までの不振を取り戻すことは難しい見通しです。

以上により、平成30年3月期は、売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を下回る見込みであり、業績予想を修正することといたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合があります。

以 上